

【概要】

配属された研究室の担当教員と原則マンツーマンで実験・調査研究を一年を通じて行う。問題発見・解決能力を養う。卒業研究の実施や将来医療現場での様々な研究活動に参画できるようになるために、研究課題を通して科学的根拠に基づいて問題点を解決できる能力や態度を修得する。課題達成のために、論理的思考の醸成、他者の意見を理解し討論する能力の醸成、研究活動に関わる諸規則を遵守し、倫理、環境に配慮して研究に取り組む態度などを修得する。さらに研究活動を通して、創造の喜びと新しいことを発見する研究の醍醐味を知り、薬学の総合的理解を深めることを目的とする。

【学修目標】

課題に関連するこれまでの研究成果を調査できる。
 課題に関連するこれまでの発表論文を読み、内容を理解するための基礎的知識を修得する。
 課題達成のために解決すべき問題点を指導教官と討論できる。
 研究課題の目的を説明できる。
 研究課題に関して、指示された作業（実験、調査等）を正確に実施できる。
 研究課題に関する薬品、器具、機器等を正しく取り扱い管理できる。
 研究の各プロセスを正確に記録する。
 研究の結果をまとめることができる。
 研究の結果を指導教官と討論できる。
 研究の成果を評価し、報告書にまとめることができる。
 研究の成果を発表し、適切に質疑応答ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	研究の目的・実施要領を理解する。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 G-1～2	担当者全員
2～9		各教員の研究内容については、後期ガイダンス時に配布しますので確認してください。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 G-1～2	
10	報告書作成・発表会	研究内容をまとめ報告書を作成する。 研究内容をまとめ、発表会を実施する。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 G-1～2	担当者全員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究課題に対する技能・態度（60％）、研究成果報告書、口頭発表あるいはポスター発表（40％）により総合的に評価する。

【教科書】

特になし

【学修の準備】

研究に臨むに当たり、事前に必要な知識を得て、理論の理解など積極的に自ら研究活動に取り組む態度を身につける。研究の成果は指導教員とその都度討論し、次の研究段階に進むための調査、準備を計画し実行する。

【関連するモデル・コア・カリキュラム】

G 薬学研究

G-1 薬学的課題の探求と薬学研究に取り組む姿勢

G-2 研究の実践

【薬学部ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

4. 卒業研究や実務実習を通じて、医療の進歩に対応できる柔軟性と、高度先端技術の理解と活用、ならびに臨床における問題点を発見・解決する能力を有する。
5. 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲を有する。